

# 農業試験場水稻試験圃の生育状況 (令和7年)

農業試験場八重森圃場 (標高334m)

調査時期	調査項目	あきたこまち				コシヒカリ				風さやか			
		前年 (R6)	平年	本年 (R7)	平年差	前年 (R6)	平年	本年 (R7)	平年差	前年 (R6)	平年	本年 (R7)	平年差
移植後 20日	主稈葉数 (枚)	6.4	6.5	6.4	-0.1	6.4	6.6	6.2	-0.4	6.3	6.4	6.0	-0.4
	草丈 (cm)	28	27	28	106%	29	31	31	100%	27	29	29	101%
	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	187	200	111	55%	194	205	119	58%	229	214	185	87%
移植後 30日	主稈葉数 (枚)	8.1	8.4	8.3	0.0	8.2	8.1	8.2	0.0	8.2	8.2	8.0	-0.2
	草丈 (cm)	37	35	37	103%	40	37	40	108%	35	34	37	109%
	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	433	457	403	88%	475	434	360	83%	543	506	440	87%
移植後 40日	主稈葉数 (枚)	9.3	9.7	10.3	0.5	9.4	9.7	10.2	0.5	9.4	9.7	10.2	0.4
	草丈 (cm)	52	52	57	109%	54	50	58	116%	46	44	52	120%
	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	596	614	695	113%	649	633	709	112%	728	720	775	108%
幼穂形成期	期日 (月日)	7/7	7/6	7/7	0	7/11	7/12	7/13	0	7/14	7/17	7/14	-3
出穂期	期日 (月日)	7/25	7/26	7/25	-2	8/3	8/4	8/3	-2	8/6	8/8	8/5	-3
成熟期	期日 (月日)	9/1	9/5	9/2	-3	9/9	9/14	9/8	-6	9/14	9/21	9/14	-6
	稈長 (cm)	85	87	85	98%	98	95	101	106%	81	82	83	101%
	穂長 (cm)	19.8	18.8	18.4	98%	19.1	18.6	18.4	99%	18.1	17.2	16.9	98%
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	440	484	471	97%	431	495	478	97%	416	458	449	98%
	玄米重 (kg/a)	63.4	65.0	64.6	99%	57.8	62.4	63.9	102%	67.8	71.1	64.7	91%
	千粒重 (g)	22.1	21.8	22.2	102%	22.0	21.5	21.7	101%	22.7	22.4	22.3	99%
	総粒数 (粒/m <sup>2</sup> )	35,585	38,468	35,150	91%	33,339	42,442	43,775	103%	36,344	42,249	35,864	85%
	登熟歩合 (%)	86.7	82.2	75.9	92%	82.4	76.3	82.0	107%	84.8	77.0	87.0	113%
登熟粒数 (粒/m <sup>2</sup> )	30,852	31,302	26,669	85%	27,471	32,234	35,899	111%	30,819	32,396	31,215	96%	

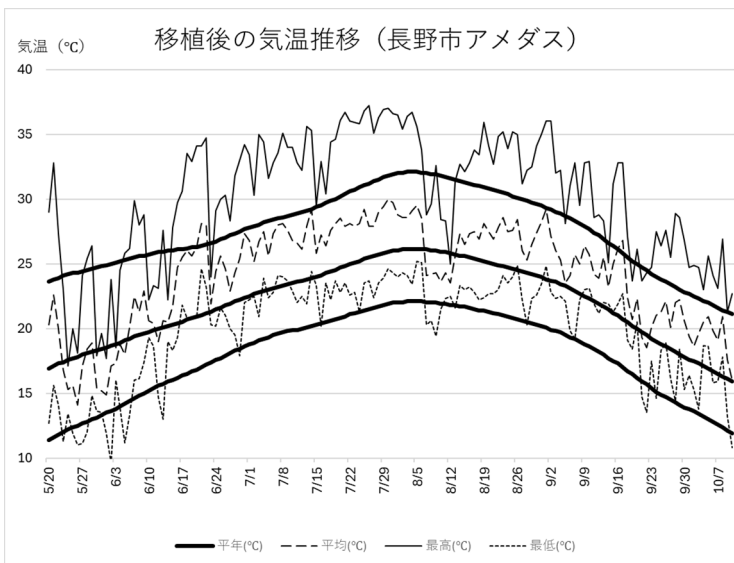
平年値は平成30年～令和6年の収量の最大、最小年を除く7中5年の値。

移植日: 令和7年5月20日、苗質: 中苗、移植法: 1株3本手植え、栽植密度: 22.2株/m<sup>2</sup> (30cm×15cm)

苗丈 (cm) および葉齢 (L): 「あきたこまち」 20.8、3.1 「コシヒカリ」 23.1、2.8 「風さやか」 18.7、2.2

<概要>

- 移植後20日の生育** 主稈葉数は3品種ともほぼ平年並。草丈は平年より長く、茎数は平年より少なかった。移植時は高温であったが、その後低温寡照の期間が続いたことから活着が遅れたためと考えられる。
- 移植後30日の生育** 主稈葉数は「あきたこまち」で平年よりやや多く、「コシヒカリ」「風さやか」でほぼ平年並みとなった。草丈は3品種とも平年よりやや長い。茎数はいずれも平年より少ないが、特に「あきたこまち」「コシヒカリ」では回復傾向にある。これは6/13以降の高温により、分けつ発生が促されたことによると考えられた。
- 移植後40日の生育** 主稈葉数、草丈、茎数とも、3品種全てが前回調査と比較して急激に増加して平年を上回った。この期間はかなりの高温傾向であり、非常に生育が旺盛であった。
- 幼穂形成期** 平年に比べ「あきたこまち」「コシヒカリ」は同日であり、「風さやか」は3日早かった。
- 出穂期** 平年に比べ「あきたこまち」と「コシヒカリ」で2日早く、「風さやか」で3日早かった。
- 成熟期** 平年に比べ「あきたこまち」で3日、「コシヒカリ」「風さやか」で6日早かった。稈長は「あきたこまち」で平年並み、「コシヒカリ」「風さやか」でやや長かった。穂長は「あきたこまち」で同等、「コシヒカリ」「風さやか」でやや短かった。穂数はすべての品種でほぼ同等であった。
- 収量** 平年に比べ玄米重は「あきたこまち」「コシヒカリ」で平年並み、「風さやか」で9%少なかった。「コシヒカリ」は長稈となったが、倒伏は少なく収量への影響はなかった。
- 収量構成要素** 総粒数及び登熟粒数は「あきたこまち」「風さやか」で少なく、「コシヒカリ」で平年並みであった。登熟歩合は「あきたこまち」で低く、「コシヒカリ」「風さやか」では高かった。「コシヒカリ」は穂数がほぼ平年並みであり登熟が良好だったことが玄米重の確保につながったと考えられる。「風さやか」では一穂着粒数の減少が、登熟粒数及び玄米重の低下につながった。一穂粒数を決める枝梗及び穎花分化期に高温だったことで期間が短縮されて一穂粒数が減少したと考えられる。



<参考> 気象概況 (アメダス長野観測値)

期間	平年差	
	平均気温 (°C)	日照時間 (hr)
移植直後～10日	+0.3	-0.6
<b>【参考】</b> 移植直後～2日	(+3.9)	(+2.6)
移植後3～12日	(-1.8)	(-3.2)
移植後11～20日	-0.8	-1.8
移植後21～30日	+2.1	-0.8
移植後31～40日	+3.8	+1.3
移植後31日～幼穂形成期		
あきたこまち	+3.82	+2.45
コシヒカリ	+3.78	+2.92
風さやか	+3.83	+2.93
幼穂形成期～出穂期		
あきたこまち	+3.43	+3.46
コシヒカリ	+3.18	+3.53
風さやか	+3.13	+3.45
出穂期～成熟期		
あきたこまち	+1.98	+1.96
コシヒカリ	+1.68	+1.23
風さやか	+1.82	+0.62